

5 算数・数学科経営の質を高める

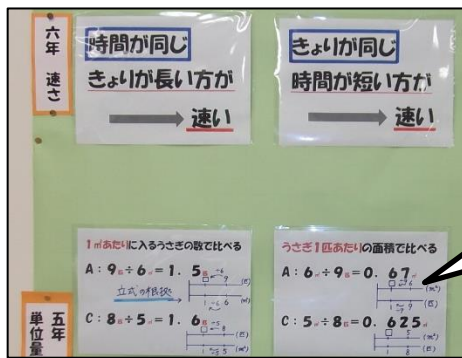
<テーマ> 「算数コーナーを整備し，見通しや説明で活用させる取組」

(石巻市立須江小学校)

本校では，解決の見通しをもたせるための手立てとして，算数コーナーに既習の学習内容や既習の見方・考え方を掲示してきた。また，説明のときに使わせたい言葉も掲示してきた。既習の見方・考え方と説明の言葉は常時掲示しておき，学習を進める中で新しいものを加えていった。既習の学習内容は単元ごとに内容を変えていった。

(1) 既習の学習内容

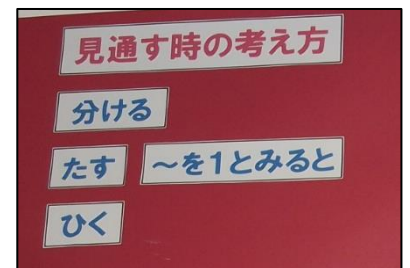
前時までの学習内容や前単元，前学年までの学習内容で，本単元の学習にかかわりのあるものを掲示し，解決の見通しをもたせる際に活用した。



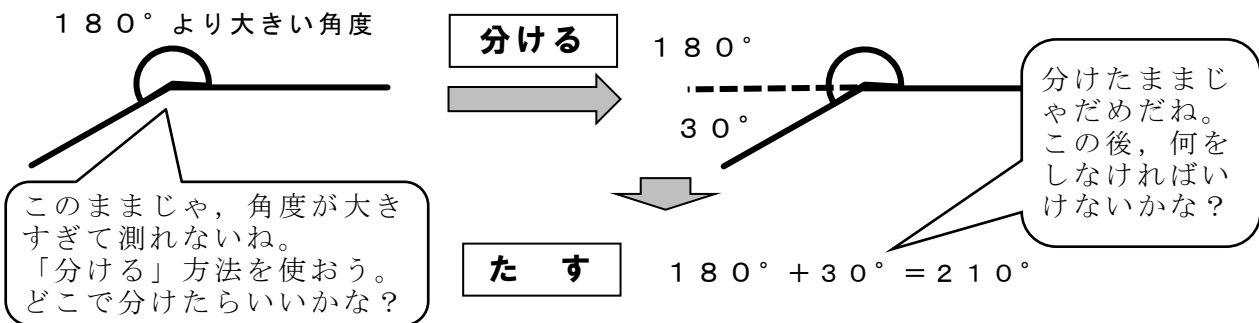
6年「速さ」の学習では，5年で学習した「単位量あたりの大きさ」の学習内容を掲示した。

(2) 既習の見方・考え方

「分ける」「足す」「あるとみて引く」「～を1とみる」など，単元や学年を超えて用いることができる見方・考え方を掲示し，見通す際の手掛かりにさせたり，学習の最後に今日はどの考え方を使ったか振り返らせたりした。



【「分ける」「足す」の見方・考え方の用い方の例】



(3) 説明の言葉

順序立てて説明するための言葉

説明のことは①  
「まず」「はじめに」  
「つぎに」  
「そして」  
「さいごに」

説明のことは②  
「たとえば」  
「もし...だったら」  
「つまり」  
「ここまでいいですか？」

他の数値や言葉に置き換えたり，聞き手を意識して説明したりするための言葉